

シンポジウム開催

～ストップザ雑魚寝！ 全ての被災者に簡易ベッドの導入を！

◆趣 旨

災害時の避難所では、血栓症をはじめ多くの健康被害が報告されています。災害時の避難所における健康被害を減らすためには、簡易ベッドが必要とされています。

本シンポジウムでは、医学的視点から避難所における簡易ベッドの重要性を紹介します。また、新潟大学会場では、段ボール製の簡易ベッドの組み立て・体験を行います。

◆と き 平成25年5月18日（土）午後1時～午後4時（受付 午後12時30分より）

◆ところ 新潟大学五十嵐キャンパスベンチャービジネスラボラトリ（西門のちかく）
※関西大学、佐賀大学と新潟大学の3会場をインターネット中継します

◆対 象 一般、関西圏・新潟・佐賀の行政担当者、医療関係者、福祉関係者、ボランティア団体ほか

◆概 要 1300～1430 開会挨拶（吹田市長、関西大学学長）インターネット中継
①避難所の静脈血栓症（エコノミークラス症候群）と簡易ベッドの必要性：中越地震～東日本大震災～イタリア北部地震における検討（新潟大学：榛沢和彦）
②2次健康被害を防ぐ避難所の提言：石巻でのDVT調査と簡易ベッド健康調査（石巻赤十字病院：植田信策）
③東日本大震災の現場、松原苑のその日（陸前高田市老人福祉施設松原苑：尾崎洋一）
④福祉避難所での簡易ベッド使用経験から（理学療法士：横瀬英理子）
⑤災害時における簡易ベッドの供給スキーム（Jパックス㈱：水谷嘉浩）

1440～1610 パネルディスカッション（インターネット中継）

新潟会場では、段ボール簡易ベッド20セットを実際に参加者で組

み立てて、体験してみます



◆主 催 ストップザ雑魚寝！実行委員会、吹田市、関西大学
◆共 催 新潟大学 佐賀大学
◆後 援 大阪府、新潟県 佐賀県 日本赤十字大阪支社（予定）
◆協 賛 セッツカートン㈱、レンゴー㈱